



青と緑の豊かな活力ある村

広報

おんな



恩納村 総務課 TEL098 (966) -1200

▼島うた公募事業による「恩納村興し」の踊りを披露! (恩納村産業まつりにて)



夢を育み安心して生活できる村の実現にむけて

村のひと 平成16年11月

男	5,151人	(-14)
女	4,933人	(0)
計	10,084人	(-14)
世帯数	3,847世帯	(-6)

- ◆ 第14回琉歌大賞決まる!
- ◆ 比嘉茂政氏が社協に寄付
- ◆ ちえこのカンボジア日記 vol.8
- ◆ むらの話題：お母さんから布絵本のプレゼント! 他



平成17年
1月号
(No.283)

*** 新情報満載! 恩納村ホームページ *** <http://www.vill.onna.okinawa.jp>

資源ごみ(古紙類)の出し方

古紙類は、本類(雑誌・漫画・菓子箱等)、新聞類(新聞・チラシ・OA用紙)、ダンボール、紙パックを別々に紙ひも等でしばって出してください。また、紙類は濡れるとリサイクルできませんので、雨の日は次回収集日に出してください。



※種類別に紙ひもでしばって出して下さい。(ガムテープは、使用できません)

本類

漫画本、週刊誌・文庫本・図書・菓子箱等

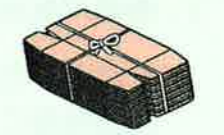


新聞・チラシ・OA用紙



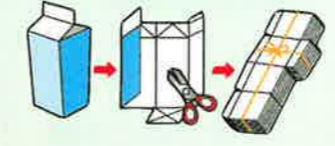
ダンボール

(テープ・ホッチキスは除いてください)



紙パック

紙パックは、洗って切り開いて、ひもで十字にしばってください。(中身がアルミコーティングされているものは、もやせるごみへ)



雨の日は次回へ

- 紙類は、濡れるとリサイクルできません。
- 雨の日は次回に出してください。

- ※資源化できないもの
- ・ファックス用紙(感熱紙)
 - ・写真・油紙
 - ・カーボン用紙
- (上記のものは、もやせるごみへ)※袋には入れないでください。



恩納村 福祉環境課 966-1207

農家の皆さんへ 〈農業用廃ビニールの収集処理について〉

ビニールハウス・トンネル・マルチなどの施設園芸で使用した使用済み廃ビニール・プラスチック鉢の収集を下記の日程で行います。

- 収集の時期：平成17年2月6日(日)～2月8日(火) 午前9:00～午後4:30
- 搬入先：恩納村リサイクルセンター内(堆肥場跡地)
- 費用：50円/Kg 村30円 事業所(JA、花卉農協、北部花卉)15円・生産者5円

<p>①取り外したビニールハウスのわきへまとめ</p>	<p>②まとめたビニールを約3mにノコギリガマで切断する。</p> <p>約3m</p> <p>ビニール幅8～9mのものであってもこの方法でよい。</p>	<p>③切断したビニールをまとめて、中央部の1カ所を結束する。</p> <p>約3m</p> <p>(結束はポリテープ等で)</p>	<p>④結束した中央部から折返しにたたみ、口を1カ所結束する。</p> <p>約1.5m</p> <p>(結束は2カ所が良い)</p>
-----------------------------	---	--	---

*** 現金支払いをお願いします ***

上記の方法を原則として、持ち運びが簡単にできるようにして下さい。収集時間以外の受付は行いません。

【お問い合わせ】 恩納村役場 経済観光課 ☎966-1202

夢を育み 安心して 生活できる村の実現にむけて

村民の皆さま、あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

今年も、村民の皆様にとりまして、良き年でありますよう心からお祈り申し上げます。皆様には、村政に対する暖かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。おかげさまで、本村の村づくりも所期の目標に向かって順調に進展いたしております。私も就任2年目の年を迎え、新たな気持ちをもって、村政の運営にあたる決意でありますので、引き続きご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

さて、去年を振り返って見ますと、たび重なる台風の襲来、北陸地方で被害を出した新潟中越地震等、自然災害により多くの人たちが家を失い、先の見えない不安な生活を強いられておられます。県内では、沖縄国際大学に米軍ヘリが墜落・炎上するという重大な事故が発生しました。奇跡的に死傷者を出すことはありませんでしたが、周囲の住民には物的被害だけでなく、大きな心的衝撃を与えたことと



▲平成16年9月30日に国指定史跡となった国頭方西海道。写真は国頭方西海道の一部、山田谷川の石碕。

思います。また、我が国の経済情勢では、一部に好転の兆しはあるものの、地方自治体を取り巻く財政環境は、依然として厳しさを増しております。本村においては、住民の生活圏域の拡大や高度情報社会への対応、少子・高齢化社会を迎えるの子育て支援や介護保険をはじめとする保健福祉の充実、環境問題やごみ処理対策、下水道整備等の行政課題が山積しております。

住民が安定して暮らせる夢のある村づくりの実現に向け、「農水産業」の活性化、「福祉」の充実、「観光」の振興並びに「教育」の振興を進めてまいります。これらの振興策に真摯に取り組みとともに、健全財政を堅持しながら、時には大胆に、夢のある村づくりに果敢に挑戦してまいります。

激動の社会情勢の中、与えられた現状を見極め、村民皆様の英知を結集し、村の進むべき方向を具現化することが肝要であります。先人が築かれた村の財産である歴史を継承しつつも、さらなる暮らしやすい地域社会の構築と、次世代に発展継承させることが私たちの責務であると考えます。村民一人ひとりが夢を育み、安心して生活できる村の実現に向けてさらなる努力をしてまいります。皆様の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

どうぞ、この年が皆様にとりましても、恩納村にとって「飛躍の年・幸多き年」でありますようご祈念申し上げます。年頭のあいさついたします。

平成17年1月1日

恩納村長 志喜屋 文康



テーマは『命』

琉歌大賞

児童生徒の部 大賞

第14回琉歌大賞決まる!



▲第14回琉歌大賞に輝いた大村廣子さん(那覇市)



▲児童生徒の部大賞の与儀紋佳さん(喜瀬武原小3年)

今年度の琉歌大賞表彰式が11月21日、村コミュニティセンターで開催されました。県内外・海外から1365首(一般709首、児童生徒656首)の作品が寄せられ、栄えある琉歌大賞には、那覇市の大村廣子さんが、児童生徒の部・大賞には、喜瀬武原小3年生の与儀紋佳さんが選ばれました。

朝夕笑ひ誇い

命果報よ願て

斗搔風車も

拝みばしやの



大村廣子(那覇市)

タンポポのわたげ

とばしたい空へ

つぎはどこで咲く

花のいのち



与儀紋佳(喜瀬武原小3年)

◎寸評

第14回琉歌大賞(一般の部)は、四名の審査委員で、この歌を選びました。朝夕、家族や友人等と笑い喜び、健康を願って、斗搔き・風車の長寿を見たいものです。最近の心境を自然体で歌い上げた作者は、斗搔きを迎える年齢になり、健康に留意して、家庭円満を最優先に生きてきた思いが、ひしひしと伝わって参ります。(中略)

この歌には、斗搔き・風車を迎え、さらに長寿をという心意気が、歌い込まれています。作者のすなおな気持ちが表現された秀作です。

(審査委員長 當間(郎))

◎寸評

タンポポはキク科の多年草で道端によく見かける草花である。大地に平たく葉を広げ、茎の先端に無数の小さな黄色い花の集合体である。

宙に向かって咲くその花を摘んで花束を作ったり、丸いぼんぼりの様になった綿毛を散らさぬ様にそっと摘んでフーと吹き飛ばして遊んだ様子が思い出される。

吹き飛ばされた綿毛は風に乗り旅をし、新たな土地で根を下ろした花を咲かせる。風に乗った綿毛はどんな旅をしたのだろうか想像するのも楽しい。

誰もが経験した懐かしいメルヘンの世界を「花の命」としてとらえた瑞々しい感性の溢れた作品です。

(児童生徒の部 審査委員 中村啓子)

「やめようよ。」の一言で

仲泊中学校三年
山城 愛香

「あいつムカツクよね。」これは、私が最近よく聞く言葉です。私も口にする事がありません。

先日、数人の友達と話をしている時にある人が話題になり、「調子に乗ってる」「ブッコ」などと言い始めました。私も話に加わっていたのですが、本当にその子が嫌いと言ったわけではなく、みんなに合わせないと自分が嫌われてしまうのではないかと、笑った顔の奥で思っていました。

「罪悪感」という刃が私をつきさしました。

そして、今こうして考えると、私が普段何気なく人に言った悪口も友達に嫌な想いをさせてしまったのかもしれない。

しかし、一番つらいのは悪口を言われた人達です。その気持ちには私にも痛いほどよく分かります。

なぜなら、私もいじめをうけたことがあるからです。当時小学五年生だった私は、転入してきたばかりで珍しい

育てよう一人一人の人權意識

～身近なことから人權を考えてみませんか?～

私も一、二度大きな声で暴言を言われた事がありますが、その時は胸がしめつけられていたように、「なぜ自分だけ」と悲しさを何度も涙がこぼれそうなのをこらえました。

しかし、自分だけではありませんでした。友達も同じような目に合っていました。

けれど、私は何もできず見て見ぬふりをしていました。友達も涙を流していました。

自分と同じくらい苦しんでいると分かっている、私は何もする事ができませんでした。

そんな時、私が家へ帰ろうと玄関から出ると、数人の小学生が一人の下級生に対して、その子の外見などの文句を言っているのを見かけました。すると、近くで遊んでいた子が、「お前達、やめれえ。かわいそうだろう。」と言ったのです。

私はその子に考えさせられました。

友達に立ち向かうのは、他

※山城愛香さんのこの作文は、第24回全国中学生人權作文コンテスト沖縄県大会で奨励賞となりました。





恩納村保健師：伊波智恵子

新年あけましておめでとうございます。(ちなみにカンボジアの正月は4月です)マラリアセンターは約90人弱の職員がいますが、職員関係者の結婚式、お葬式、誕生パーティー等出席しましたので、今回はそれをお伝えします。

<結婚式>

これまでに2回出席しました。1回目は職員、2回目は職員の妹さんの結婚式で、ほとんど同じ形式でした。昼間は身内で式をあげ、夕方から



▲智恵子さん(左から4人目)と新郎・新婦のご家族のみなさん

レストランを借りて披露宴をします。結婚式で日中は路上にテントを張って接客したりしている場面もよく見かけます。以前だと3日間続いたりしたそうですが、最近は1日で終わるようになったそうです。披露宴会場は約200人の招待客があり、ターンテーブルを前に食事がどんどん運ばれ、なぜか中華料理もよくできました。司会進行とかなく、ステージはバンドの演奏があって、招待客はそれを聞きながら食事をしたり、周囲の知人と挨拶を交わしたりしながら時間を過ごします。夕方5時半～8時半頃まで続いて、最後は新郎新婦のケーキカットもありました。みなさん思った以上にドレスアップされていて華やかでした。会場周辺は結婚式場のレストラン街のようで、よそでも披露宴がありました。

<葬式>

女子職員の義父が亡くなったということで、夕方その方の実家へスタッフと一緒に行きました。屋内に祭壇をつくりお坊さんを迎え、周囲を身内が取り囲んでいます。来場者は入り口で受付し香典らしきものをあげ、その後中の家族に挨拶します。外にもテントが張られ、私はそこで食事など出されて接待を受けました。亡くなられた方は75歳で療養中だったそうです。

<誕生会>

1回目はスタッフの息子、16歳の誕生会でした。彼女は主に女子職員と仕事関係者を招待しました。食事はバイキングスタイルで、屋上に敷かれたゴザの上に座り、数人輪になっておしゃべりしながら時をすごしました。息子さんの友人も入れ総勢40人位、カラオケミュージックも流れアットホームなパーティーでした。

2回目はマラリアセンター所長の19歳になる娘さんの誕生会でした。それはレストランを貸し切って職員や関係者ほとんどに招待状が出されていたようでした。(私も香り付きの用紙に印刷された招待状をもらいました。)ホールのようなレストランでは生の演奏がされていました。総勢100人以上いました。隣の席の人に「カンボジアの誕生会はいつもこうなの?」と聞きましたら「一般的にはそんなお金ないので家族だけでやる」とのことでした。職員全員を招待する所長さんは太っ腹で気前がよく、ついでですが、紳士的です。

大勢の人を招待し職場や親戚、友人が親しく関わってくるカンボジアの催事にどことなく沖縄と共通しているのを覚えました。

ちなみに祝儀は\$20、香典は\$10、プレゼント代は\$15ですが、それはマラリアセンターの職員間の相場です。(どうもここは上流階級に入るようです。)

あちらこちらで出される食事、周囲の人がいつも私の口に合うかと気を使ってくれ、言葉があまり通じなくてもその場の温かい雰囲気のおかげで助けてもらっています。



▲結婚式でのケーキカット



▲マラリアセンター所長(右)の19歳になる娘さんの誕生会

クメール語でひとつも ルオーナツ(いいね Very Good)

比嘉茂政氏が社協に寄付



▲比嘉茂政氏(左)から社協の宮城会長(左から2人目)へ寄付金の贈呈

沖縄県副知事を6年近く務め、去った10月13日に副知事の職を退職した恩納村山田区出身の比嘉茂政氏が、11月15日、恩納村役場で志喜屋文康村長立会いの元、社会福祉活動に役立てて下さい、と村社会福祉協議会の宮城清会長に50万円を寄付しました。比嘉氏は、「皆様の力で6年近く副知事を務めることができました」とこれまでの村民の協力を感謝しての寄付となりました。寄付を受けた宮城会長は、「比嘉氏の県での活躍は、多くの村民に夢と希望を与えました」とお礼を述べました。

嘱託職員へ辞令を交付



▲池宮城収入役から辞令を交付される平田学嘱託員(右)

12月1日、恩納村役場2階会議室において、嘱託職員へ辞令の交付式が行われました。今回嘱託職員として採用になったのは、沖縄市出身の平田学技師(31歳)です。12月1日付けで建設課へ配属となり、南恩納に建設予定のふれあい体験学習センターを担当することになります。

沖縄県



▲第4回全国障害者スポーツ大会の立ち幅跳びで銅メダルを獲得した喜納将史選手(写真提供：沖縄県身体障害者福祉協会)

おめでとう!喜納将史選手!
全国障害者スポーツ大会で銅メダルを獲得!

「ともに感動!ともに笑顔」をスローガンに掲げ、第4回国障害者スポーツ大会が11月13日、埼玉県熊谷市で開催されました。この大会に富着区出身の喜納将史選手が立ち幅跳びで出場し、銅メダルを獲得しました。記録は2メートル35をマークしました。銅メダル獲得の快挙に、喜納選手は次のコメントを村に寄せてくださいました。

「会場では競技の様子が大型スクリーンに映し出され、来場した応援団の人たちと感動と笑顔を共有することができました。また、さらに銅メダルというお土産もあり、今回の大会は私にとって、とても貴重な体験になりました。このような素晴らしい機会を与えてくださった恩納村役場福祉環境課、そしてこの大会の開催にご尽力いただいた全ての関係者の皆様に心より感謝を申し上げます。」

お母さんから布絵本のプレゼント!

恩納幼稚園



▲ 手作りの布絵本とぬいぐるみ。色とりどりでかわいらしく、
見ているだけでも楽しめる。



▲ 完成した布絵本で遊ぶ園児たち。後ろは製作に携わった
(左から) 仲眞さん、仲嶺さん、安里さん、名嘉真さん

このほど、恩納幼稚園の父母から園児に布絵本のプレゼントがありました。この布絵本は、子どもたちが遊びながら、基本的な生活に必要な動作を学べるように作られています。中心となつて製作したのは園児のお母さんの安里さん、名嘉真さん、仲嶺美智子さん、仲眞美智子さんです。毎週木曜日、恩納幼稚園に集まつて製作し、半年かけて仕上げ、9月に完成しました。安里さんは「一針一針子どもの喜ぶ顔を思い浮かべながら、心を込めて作りました」と笑顔で話していました。

プレゼントされた布絵本で、子どもたちは楽しそうにボタン掛けやリボン結び、三つ編みなどの練習をしていました。



▲ 元全日本女子ソフトボール監督の宇津木妙子氏。ソフトボールの指導などで、沖縄には50回ほど来ているそうです。

元全日本女子ソフトボール監督
宇津木妙子氏が来村!



▲ 学生、父母、教育関係者らが熱心に耳を傾けていました。

教育講演会
「夢と人生」

あの2004年アテネオリンピックで全日本女子ソフトボールを銀メダルに導いた監督、宇津木妙子氏が「夢と人生」と題して、12月4日、恩納村コミュニティセンターで講演を行いました。宇津木氏は、「あいさつで選手の一日の体調や心の変化がわかる。そういう変化に気がつける親、先生にならないといけない」、「常に子どもたちと目線を一緒にする」など指導者の立場から話をされました。また、講演後には、会場から積極的に質問が相次ぎました。山田中2年の糸数さんの「今よりさらにチームワークを高めるためにはどうしたらいいですか」という質問に対して、宇津木氏は「会話をすること。練習一つひとつを意識してやること。個人個人がライバル意識を持つてやること。個人の力が大きくなるとチームの強さにつながる」と丁寧に答えていました。

この日の教育講演会には、村内外から約700人がつめかけ、熱心にメモをとるなどして、講演に聴き入っていました。



▲ 芸術的な写真がずらりと並ぶ伊芸元一写真展



▲ 開放的な博物館ロビーでのさまざまな作品展示

第13回恩納村文化展

11月26日から28日の三日間の日程で、恩納村博物館において、第13回恩納村文化展が開催されました。出展は琉歌、彫刻、木工、写真、陶芸、盆栽、紅型、華道、書道、手工芸、絵画部門の11部門に亘り、114点もの作品展示がありました。どれも力作ばかりで、訪れた人々の目を惹きつけていました。

今回の文化展では、特別展として、恩納村字恩納の写真家、伊芸元一さんの写真展も開催されました。伊芸さんはこれまで、二科芸や沖展などで数々の写真賞を受賞されています。作品は数年前に村内で展示されたものの再展示です。会場は芸術的な写真で溢れていました。



わくわく体験
ときどき体感



▲ 子どもたちに大盛況だったお菓子作り体験コーナー。母子保健推進員のみなさんが教えていました。

11月28日、平成16年度の恩納村健康福祉まつりが総合保健福祉センターで行われました。まつりでは、骨密度や血圧・体脂肪の測定、お菓子作りやおもちゃ作り、3歳児虫歯ないで賞や在宅介護功労賞の表彰式などが行われ、403人が訪れました。



▲ 血圧であなただけの健康度をチェック!



▲ 老人疑似体験中! ひざや足首におもりを着けて、さらにおもり入りのサンダルを履いて、首からかけたひもを腰が曲がるくらい張る。すると、動きにくく、自然に動作がゆっくりになる。

恩納村健康福祉まつり



平成17年度 村立保育所入所児童募集について



平成17年度村立保育所への新規入所児童を下記のとおり募集いたします

1. 募集対象児童

0歳児（出生後6ヶ月経過の乳児）から5歳まで
家庭保育に欠ける児童

2. 申込受付期間

平成17年1月11日から1月21日まで
月曜日から金曜日まで

3. 申込時に提出する資料等

申込書に次の書類を添付してください。

- (1) 課税証明（平成16年度課税額で市町村税務課等発行）
- (2) 源泉徴収票（平成16年度分会社発行）、確定申告の写し（平成17年に手続きした分）
- (3) 住民票謄本
- (4) 保育に欠けることを証明する資料
イ 雇用証明 □ 自家営業証明 ハ その他（出産証明書等）
- (5) 児童の健康診断書
- (6) 同意書

☆以上の資料を揃えて提出してください。一つでも欠けた場合は、受付出来ません。

4. 提出先

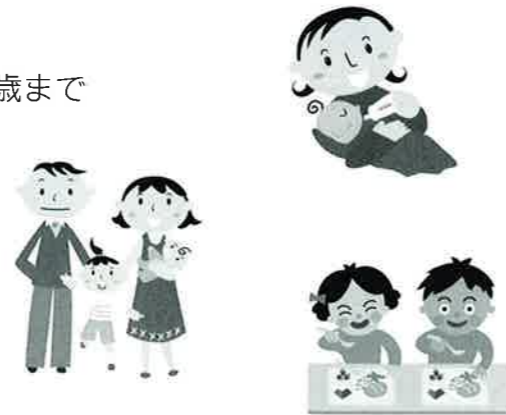
恩納村役場福祉環境課 〈申込書等は、福祉環境課にて配布します。〉

★現在入所している児童で引き続き入所を希望する児童においても提出する書類は同じです。

村立保育所のご案内

恩納保育所	定員	60名	966-8322
山田保育所	定員	70名	966-3323
安富祖保育所	定員	60名	967-8700

※お問い合わせ 966-1207 福祉環境課・福祉係 保育担当



恩納村社会福祉協議会への寄付 たいへんありがとうございました

一般寄付

比嘉茂政様 500,000円

香典返し

長浜真順様 100,000円
仲村文様 50,000円
前田早苗様 50,000円
古波蔵弘様 50,000円

指定寄付

恩納村更生保護女性会
会長名城幸代様 100,000円

物品寄付

琉球放送株式会社
代表取締役社長 座安弘様 車椅子2台
社会福祉法人 恩納村社会福祉協議会

義援金へのご協力 たいへんありがとうございました

新潟県・福井県豪雨災害たすけあい義援金

恩納村婦人会 56,900円

新潟県中越地震災害義援金

沖縄万座毛組合 59,500円
仲泊小中学校 22,918円
恩納小学校児童会 14,690円
恩納小学校職員 10,500円
リザンシーパークホテル谷茶ベイ 134,072円

沖縄県共同募金会 恩納村分会

平成16年度 結核予防複十字シール募金運動

結核予防複十字シール募金運動へのご協力ありがとうございました。

皆様からの募金は、全国各地で結核に対する知識の啓発と予防のための活動資金に使われます。

＝ 募金額 ＝

恩納村役場 71,500円
各字 574,200円

合計 645,700円

恩納村役場 健康増進課

第4回恩納村合同相談のお知らせ

平成16年度、第4回合同相談が下記の日程により開催されます。受付は、総務課にて事前に電話受付します（当日受付も可能です）。

日時：平成17年2月10日（木）
午前の部：午前10時～12時まで
午後の部：午後1時～3時まで

事前受付：平成17年2月1日～2月7日まで

会場：恩納村コミュニティセンター

相談内容：法律・人権・行政の各種相談です。

お問い合わせ：恩納村役場 総務課 行政係
TEL.966-1200

年金相談の時間延長と 休日開設のご案内

1. 12月より、県内6箇所の社会保険事務所では、毎週月曜日、年金相談時間を午後7時まで延長します。

（注）

※月曜日が祝日の場合は、火曜日となります。
※1月31日（月）及び2月28日（月）は、システムの都合により、時間延長できません。通常どおり、午後5時までの相談となります。

2. 休日の年金相談の実施

1月22日（土）、2月19日（土）、20日（日）、3月12日（土）、13日（日）の5日間は、社会保険事務所を開庁して、年金相談を実施します。

相談時間 午前9時30分～午後4時まで

※なお、業務は年金相談のみに限らせていただきます。

3. 年金相談の際、持参するもの

本人確認のため年金手帳や年金証明書等、基礎年金番号がわかる書類をお持ちください。

4. 問い合わせ先

平良事務所 ☎ 0980-72-3650
那覇事務所 ☎ 098-855-1113
浦添事務所 ☎ 098-877-0733
コザ事務所 ☎ 098-933-3439
名護事務所 ☎ 0980-52-6218
石垣事務所 ☎ 0980-82-9213



<社会保険庁ホームページ>
<http://www.sia.go.jp>